

① 自然教育園におけるカルガモの 繁殖の撮影記録 〈2013年〉

岩 出 隆*

Takasi Iwade*

はじめに

自然教育園では、これまでも毎年のようにカルガモが繁殖していますが詳細な記録がありません。そこで、2013年4月自然教育園内で繁殖したカルガモの雛の成長と行動を撮影記録し本稿にまとめてみました。

観察期間と観察頻度

観察期間は2013年3月29日から6月5日までで、この間ほぼ毎日のように自然教育園を訪れ目視又はカメラで撮影し記録しました。

雛の数の推移

5月 6日	11羽
9日	9羽
10日	8羽*
14日	6羽
18日	5羽
22日	3羽
23日	2羽
26日	1羽
6月 5日	1羽
5日	0羽*

※印は渡辺昭廣氏の観察によるもの

カルガモが主として生活している池沼



水生植物園



ひょうたん池



いもりの池と水路



湿地



水鳥の沼

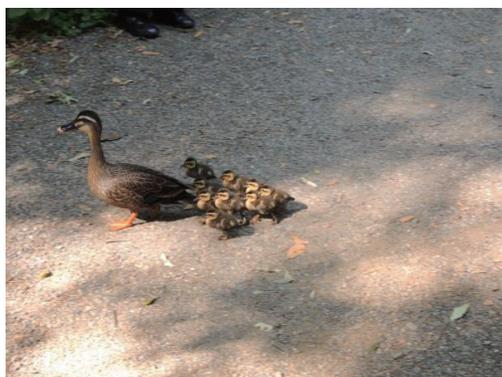
2013年におけるカルガモの行動撮影記録



2013年3月29日 水鳥の沼に行く途中の水路で
1ペアのカルガモを発見
後に11羽の雛を産んだカルガモの雄雌だと思わ
れる



5月6日 泳ぐ11羽の雛とメス親（撮影：福田光氏）



5月9日 3日後には天敵に襲われたか、雛は9羽に減る



5月9日 9羽の兄弟たちは、性格・行動力も違いが見える



5月18日 水生植物園から戻った5羽の雛がやっと落ち着いて湿地帯を泳ぐ



5月22日 2羽減り、3羽になる



5月25日 暫くして水生植物園へ移動するカルガモの2羽の雛とメス親



5月28日 ひょうたん池を泳ぐ雛は1羽となってしまった



6月1日 湿地帯に3羽が泳ぐ（雛・メス親・オス親か）



6月2日 ひょうたん池で飛ぶ練習をする雛



6月4日 ひょうたん池に4羽のカルガモが休息（母子とペア）



6月5日 湿地帯での撮影が雛の最後の姿でした

カルガモの雛の天敵

2013年5月6日にはカルガモの雛は11羽確認されましたが、その後次々と数が減り、1ヶ月後の6月5日には1羽も確認されなくなりました。恐らく天敵により捕食されたものと考えられます。

実際に捕食された現場を観察された例としては5月8日アオサギに捕食（村松やす子氏の確認）、5月18日に野良猫に1羽捕食されました（水生植物園から湿地帯移動中で多数の人が目撃していました）。

この他には実際に確認されていませんが、ハシブトガラス・アオダイショウ・ホンドタヌキなどがカルガモの雛の天敵と考えられます。

園内の水生植物園内の池で繁殖しているカイツブリの雛も同様の天敵がいると考えられますが、カイツブリの場合には水生植物園内の池だけで生活しているため天敵による捕食される機会が少ないと思われる。また、オス・メス共同で育雛していることも有利に働いています。

一方、カルガモの場合メス親単独で育雛することが多く、また餌を求めて池から池へと頻繁に移動

します。この時、陸上を移動するため雛が捕食される機会が多いと考えられます。

カルガモの雛の天敵と思われる動物



野良猫



ハシブトガラス



ホンダヌキ



アオダイショウ



アオサギ

謝 辞

本稿を作成するに当たり、いろいろご指導いただいた自然教育園の矢野亮名誉研究員、青木織江氏、また、貴重な写真・資料をお借りした福田光氏はじめ白金自然写真クラブの皆様、渡辺昭廣氏に深く感謝申し上げます。

